

「人権問題に関する県民意識調査」結果概要

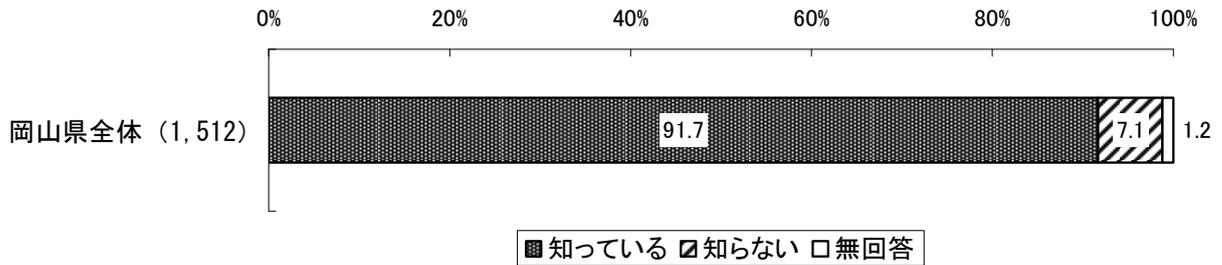
※「人権問題に関する県民意識調査報告書(平成22年2月)」より抜粋

1 人権問題について

(1) 基本的人権についての周知度

基本的人権についての周知度は9割

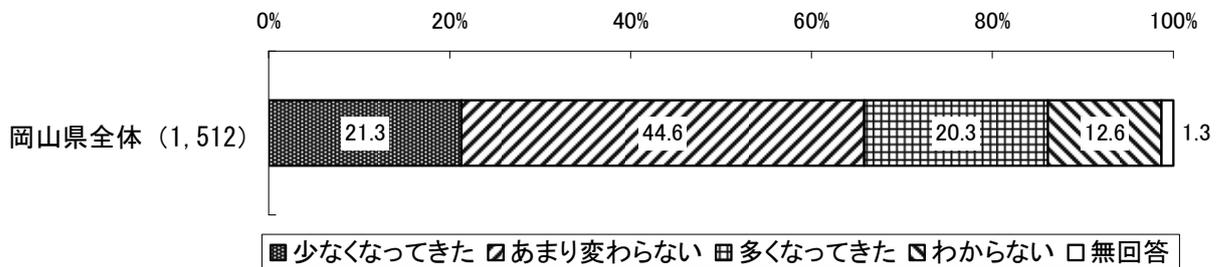
基本的人権についての周知度は、「知っている」と回答した人の割合が91.7%と9割を超えている。



(2) 人権侵害の推移

人権侵害の推移はあまり変わらないと思っている人が4割

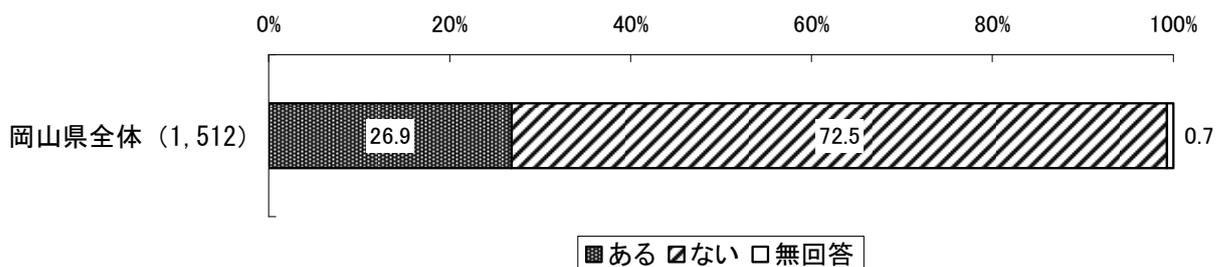
人権侵害の推移について、「あまり変わらない」と回答した人の割合が44.6%と最も高く、次いで「少なくなってきた」(21.3%)、「多くなってきた」(20.3%)、「わからない」(12.6%)の順となっている。



(3) 人権侵害の経験

人権が侵害されたと思ったことがある人の割合は3割

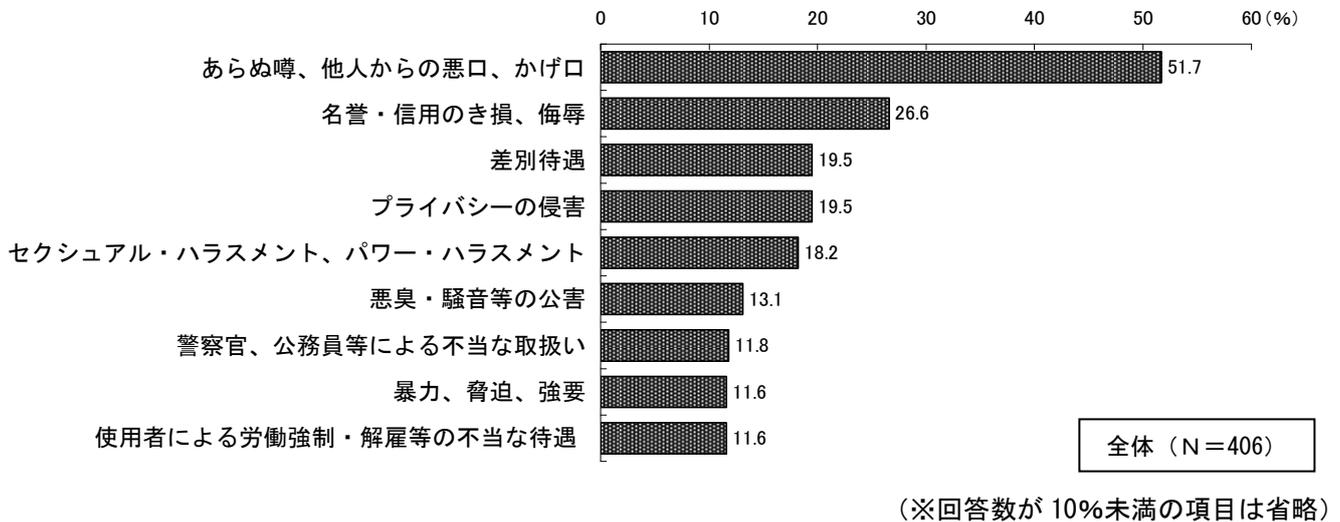
人権侵害の経験について、「ない」と回答した人の割合が72.5%となっているものの、「ある」と回答した人は26.9%となっている。



(4) 人権侵害の内容(複数回答)

人権侵害の内容としては、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が5割

人権侵害の内容について、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」と回答した人の割合が 51.7%と最も高く、次いで「名誉・信用のき損、侮辱」(26.6%)、「差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等又は不利益な取扱いをされた)」、「プライバシーの侵害」(ともに 19.5%)の順となっている。

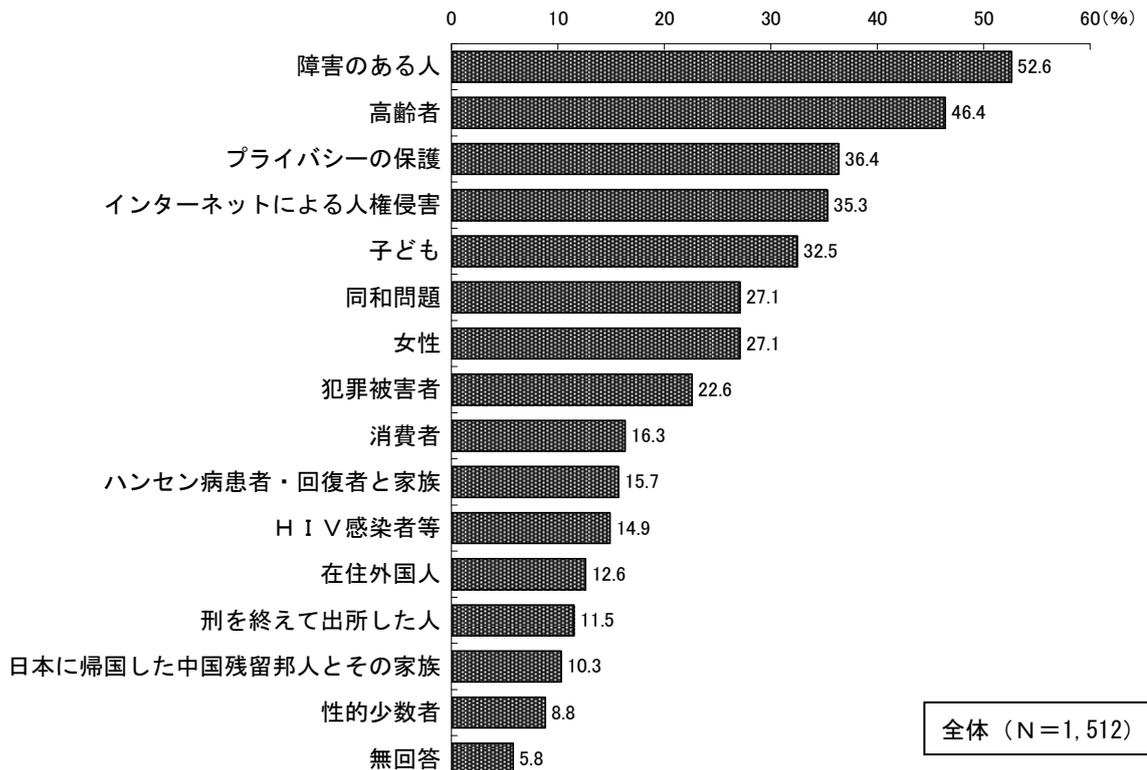


2 主な人権課題に関する意識について

(1) 人権課題に対する関心(複数回答)

関心がある人権課題は「障害のある人」、「高齢者」が5割

「改訂岡山県人権政策推進指針」に掲げている人権課題に対する関心について、「障害のある人」と回答した人の割合が 52.6%と最も高く、次いで「高齢者」(46.4%)、「プライバシーの保護」(36.4%)の順となっている。

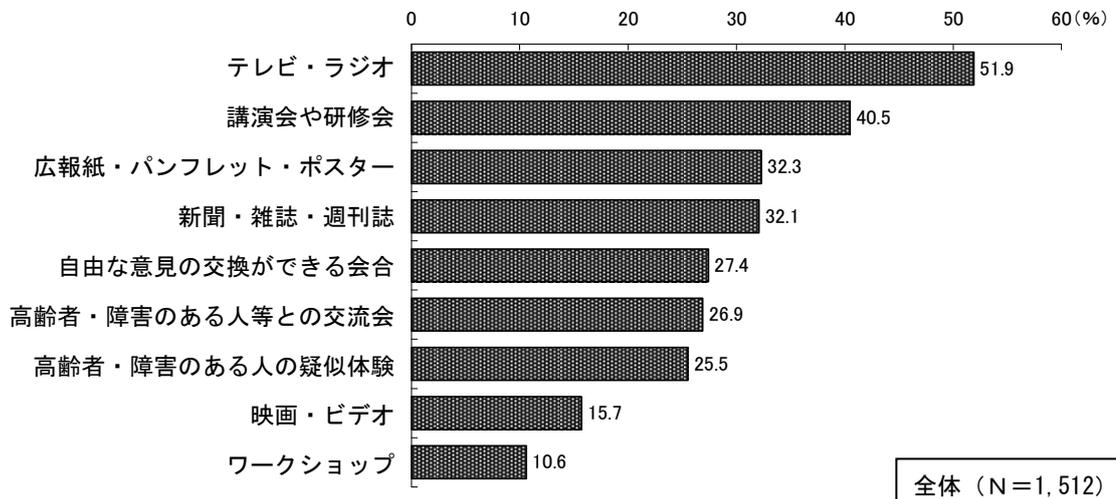


3 人権課題の解決のための方策について

(1) どのような啓発活動が効果的と思うか(複数回答)

効果的な啓発活動について、「テレビ・ラジオ」が5割、「講演会や研修会」が4割

どのような啓発活動が効果的と思うかについて、「テレビ・ラジオ」と回答した人の割合が 51.9%と最も高く、次いで「講演会や研修会」(40.5%)の順となっている。

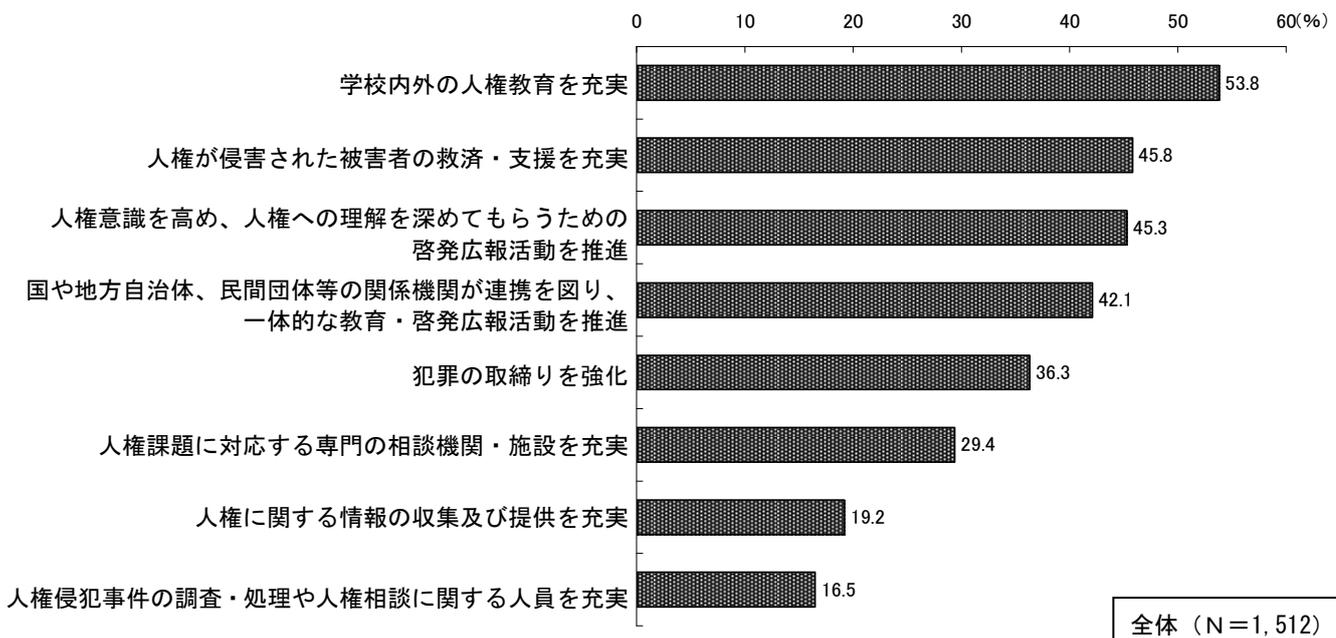


(※回答数が10%未満の項目は省略)

(2) 人権課題の解決のための方策(複数回答)

人権課題の解決のための方策について、「学校内外の人権教育を充実する」、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」の3つが5割

人権課題の解決のための方策について、「学校内外の人権教育を充実する」と回答した人の割合が 53.8%と最も高く、次いで「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(45.8%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」(45.3%)の順となっている。



(※回答数が10%未満の項目は省略)